

# 参院選 1人区での候補者調整開始

現政権に厳しい審判下すため

## 共産・志位委員、立民・泉代表が合意

日本共産党の志位和夫委員長と立憲民主党の泉健太代表は18日、国会内で会談し、「現政権に厳しい審判を下すために、参院選1人区での候補者調整の協議を開始する」ことで合意しました。

志位氏は会談後の記者会見で、「1人区の候補者調整に向けたキックオフの合意になった。この合意に基づいて協議を速やかに精力的に始めていきたい」と話し、「参院選での1人区でお互いに協力していく意思が確認されたことは重要な一歩前進だ」と強調しました。

### 対等平等・相互尊重の原則で

志位氏は、今後の協議に臨む党の立場として、市民連合と野党4党で結んだ20項目の「共通政策」、日本共産党と立憲民主党の政権協力の合意を土台に発展させていきたいと主張。選挙協力のあり方については、「対等平等・相互尊重」の原則に基づいて行うことが重要だと強調しました。

また志位氏は、野党として“自民党の『改憲4項目』を許さない”ということも共通の旗印に掲げてたたかえるよう努力したいと表明しました。



志位委員長

# 原発・病院 ロシアが無差別攻撃

国連憲章、人道法まもれの声を

ロシアは、ウクライナ国内の原発や病院などへの無差別な軍事攻撃を行い、子どもたちを含む民間人の犠牲が拡大し、人道的危機が生まれています。



国際人道法は、どんな戦争であれ守るべきルールがあり、攻撃は基地など軍事的なものに限るという原則を定めています。民間施設への無差別攻撃は重大な戦争犯罪です。

原発や病院への攻撃は、ジュネーブ追加議定書をはじめ戦時国際法違反。原発は「攻撃の対象としてはならない」（ジュネーブ条約第1追加議定書）としています。「文民病院は、いかなる場合にも、攻撃してはならず、常に紛争当



ロシアのウクライナ侵略反対と訴える人たち=19日、衆院第2議員会館前

事国の尊重及び保護を受けるものとする」（ジュネーブ文民条約）としています。

国際社会が「国連憲章を守れ」という根本的要求とともに、「国際人道法を守れ」という声をそろってあげるべき時です。

## ウクライナ支援募金にご協力を 日本共産党

お預かりした募金は、全額を国連難民高等弁務官事務所、国連児童基金に届け、ウクライナの人々の支援に充てます。

### 【郵便振替】

▽口座番号 00170-7-98422

▽加入者名 日本共産党中央委員会

\*通信欄に「ウクライナ募金」と明記してください。手数料はご負担願います。

## 2022年参院選の予定候補

〔比例代表〕	大門みきし 参院議員4期	〔選挙区〕	大阪 たつみ 前参院議員	兵庫 こむら 党国政委員長	京都 たけやま さいこ 党府女性部長	滋賀 石堂あつし 党県常任委員	奈良 北野いつ子 前大和郡山市議	和歌山は選挙中
			〔選挙区〕	和歌山は選挙中				

参院選挙投票方法

制度解説

比例代表は「**日本共産党**」と書きます

選挙区は「候補者の名前」で

参議院比例代表は政党名でも個人名でも投票できます